

令和2年度1回全国健康保険協会徳島支部評議会議事録

○日時：令和2年7月20日（月）15時00分～16時00分

○場所：アスティ徳島 第三会議室

○出席評議員（五十音順 敬称略）

井内評議員、牛田評議員、小笠評議員、岡本評議員、板東評議員、布川評議員、
三笠評議員、水ノ上評議員

○議事次第

1. 令和元年度全国健康保険協会の決算見込み（医療分）について
2. 令和元年度全国健康保険協会徳島支部事業報告について
3. 支部保険者機能強化予算について
4. その他

○議事内容要旨

1. 令和元年度全国健康保険協会の決算見込み（医療分）について
事務局より令和元年度全国健康保険協会の決算見込み（医療分）について、資料1-1に沿って説明し、意見をいただいた。
2. 令和元年度全国健康保険協会徳島支部事業報告について
事務局より令和元年度全国健康保険協会徳島支部事業報告について、資料2に沿って説明し、意見をいただいた。
3. 支部保険者機能強化予算について
事務局より支部保険者機能強化予算について、資料3に沿って説明し、意見をいただいた。

（主な議論の概要）

1. 令和元年度全国健康保険協会の決算見込み（医療分）について

【主な意見】

《事業主代表》

- ・令和元年度決算は保険料収入・保険給付とも令和2年2月分までとの説明であったが、新型コロナウイルスによる医療費の影響について伺いたい。

[事務局]

- ・徳島支部の一人あたりの医療費について、令和2年3月は前年に比べ外来は減少しているが、入院が増加しているため総合すると微増となっている。令和2年4月は3.6%減少しているが、全国平均(11.6%△)に比べると減少率は小さい。
診療科目によっては外来の受診者が減少しており、小児科・整形外科は大きく減少したと聞いている。今後の状況は現時点では不透明である。

2. 令和元年度全国健康保険協会徳島支部事業報告について

【主な意見】

《被保険者代表》

- ・「被扶養者資格の再確認」について、以前は6～7月頃に開始されていた。今年は10月開始を予定しており、11月30日期限とのことであるが、この時期は「年末調整」があり大変多忙な時期である。ただ、考え方を変えると「被扶養者資格の再確認」と「年末調整」を同時に行うことにより、かなり効率化が図れると思われるので、それに合わせた仕事の段取りを行おうと考えている。

この「被扶養者資格の再確認」の実施時期が10月頃となるのは、来年以降も継続されるのか現時点でわかるのであれば伺いたい。

[事務局]

- ・現時点では来年以降の予定は決まっていない。本部案件であるため、支部での判断は出来かねるが、今後も10月実施の要望があることについては本部へ伝えていく。

《事業主代表》

- ・徳島県はジェネリック医薬品の使用率が70.3%(令和2年2月)とあったが、前年度より増加しているのか。

[事務局]

・平成31年3月時点に比べ4.3%増加している。また増加率は山梨県について全国第2位である。

ただ、全国平均とはまだまだ差があるので、より一層の努力が必要となると考えている。

《事業主代表》

- ・ちなみに全国平均は現在何%か。

[事務局]

- ・全国平均は78.7%(令和2年3月)である。

3. 支部保険者機能強化予算について

【主な意見】

- ・特になし。

次回評議会開催日程

- 日 程：令和2年10月
- 場 所：未定
- 議事内容予定：未定